

風の会・11月 古賀志山 山行報告書

(L) 伊藤

今回の山行は栃木県・宇都宮市近郊にある岩稜の低山(583m)古賀志山です。

え～ あの人気の東京・高尾山並みの標高で、何故、宇都宮まで行くの？ まあ行ってのお楽しみですが結論から言ってしまうでしょう。**山椒は小粒でピリリと辛い。**

東京を出て埼玉県に入った頃から列車は濃霧の中を進み、20分遅れで**宇都宮駅**に到着、タクシーで**赤川ダム**に向かいます。ダム湖にその姿を映す陰しそうな**古賀志山**は紅葉にもかこまれ、上高地の大正池と焼岳の**ミニ版**を連想してしまうのは、私の思い込みでしょうか(写真)。今日は暖かく絶好の登山日よりです。さて紅葉にめぐまれたダム湖沿いに登山道に向かいます。あれ～ 入口は通行止めのテープが張ってありますが、オズオズと進み、くずれかかった鉄橋(?)を渡り、植林の登山道を行きます。

一時間強で**富士見峠**、さらに進み**東稜の見晴台**で昼食休憩です。突出した大きな露岩の上で食事をしながら先着の方々とのお話を楽しみますが、皆、地元の方々が毎週、いや今週は三回来たと、とても人気の山の様です。地元の方々がいわく、この**低い岩**の上から、富士山、新宿のビル群、東京スカイツリー、さらに目に良い人は横浜まで見えるそうです。え～ すごい～。(残念ながら今日は、そこまでの展望はありませんでした) さて出発です。

無線用鉄塔の建つ古賀志山はすぐで、そこから御岳山に向かいます。先程お話をお聞きした地元の方が一緒に歩いてくれました。この一帯は露岩が多く**岩の稜線**を進みます。途中の大岩では今年初め転落事故があったそうで、気を付けながら進みます。**短い鉄梯子**の場所は少々渋滞で、たどり着いた**御岳山頂**は、やや広く近辺の山々が手に取る様です。古賀志山は**100の登山ルート**があるといわれ、岩場とその鎖場が点在し、しかも道標も不備で自分自身でルートを見極めながら歩かなければならない魅力が地元の方々を引きつけている様です。その様子を御岳山頂より想像し、探りながら目視します。名残を惜しんで山頂を後に、来た道を少々戻り右へ下りますが、もう危険な所はありません。当会は女性会員が多いのですが、この少々神経を使う岩場を皆、面白かったそうです?? かなり長い**階段状の下り**の後、林道に出、単調な道をしばらく行くと、先程途中で別れた地元の方がに**こやか**立っています。見ると道標は無いのですが山道があり、こちらの方がショートカットと教えてくれました。感謝です。**登山道は紅葉**が鮮やかで、やがて朝のスタート点の赤川ダムに到着、本日の山歩きはこれにて終了です。タクシーを呼んで宇都宮駅へ。さあこれから**宇都宮名物の餃子**を食べたいという目的が残っています。“みんな”というお店入ります。やはり美味しい美味しいと舌つつみをうちながらこれで

すべて終了、帰路に着きました。今日の感想？

山椒は小粒でもピリピリと辛いのです。

(追:我々が登った4日後、関東一帯に11月としては54年ぶりに雪が降りました。

TVニュースでは宇都宮もかなり降っています。紅葉に降りそそぐ雪との古賀志山風景は想像するだけで楽しくなります。)2016. 4. 24 記

